英文法 L01 第 22 講 must・have to

学習目標

義務・禁止・不要の意味を区別し、主語や時制に合った must・have to の形を選ぶことができる。

1. must と have to が表す義務

義務を表す must と have to

must と **have to** は、どちらも「〜しなければならない」という義務を表す。

must は助動詞で、後ろには動詞の原形を置く。have to は、主語や時制によって have・has・had の形が変わり、to の後ろには動詞の原形を置く。

must と have to の共通点

must と have to は、義務を表すという点で共通している。

Pair 1

You must wear a helmet.

あなたはヘルメットを着用しなければならない。

Pair 2

You have to wear a helmet.

あなたはヘルメットを着用しなければならない。
この 2 文は、どちらもヘルメットの着用が義務であることを表す。

must は話し手の強い指示や判断に、have to は規則や状況による必要性に使われる傾向がある。ただし、この区別は絶対的なものではない。同じ場面で両方が使えることも多いため、義務がどこから生じたかという理由だけで、一方を誤りとは判断できない。

文法問題では、意味の違いだけでなく、主語・時制・後ろに続く動詞の形も確認する必要がある。

2. must not と not have to の違い

禁止と不要

must not は「〜してはいけない」という禁止を表す。

do not have to は「〜する必要はない」という不要を表す。

禁止は、その行動をしてはいけないという意味である。一方、不要は、その行動をしなくてもよいという意味であり、行動そのものを禁止しているわけではない。

©ミライコーチング

義務・禁止・不要の意味を比べる

次の英文では、義務・禁止・不要の違いが表れている。

Pair 1

You must wear a helmet.

あなたはヘルメットを着用しなければならない。

Pair 2

You have to wear a helmet.

あなたはヘルメットを着用しなければならない。

Pair 3

You must not enter this room.

あなたはこの部屋に入ってはいけない。

Pair 4

You do not have to bring lunch.

あなたは弁当を持参する必要はない。

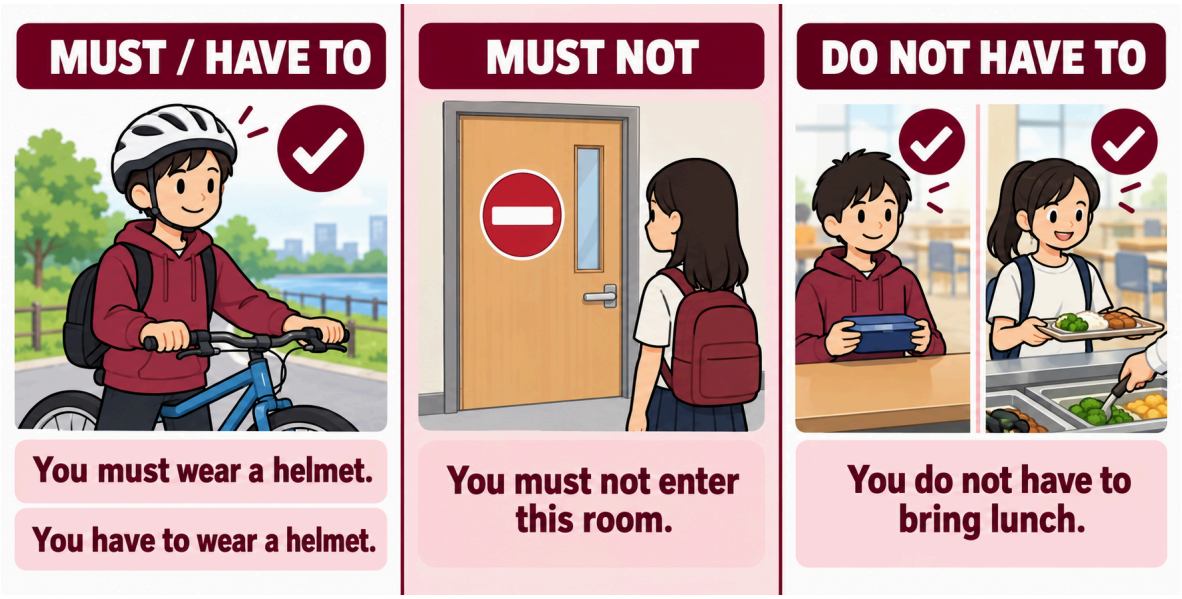


図 1　義務・禁止・不要の意味の違い

上の意味の違いを、3 つの場面で整理する。

MUST / HAVE TO：義務

ヘルメットを着用しなければならない場面である。must と have to は、どちらも着用義務を表している。

MUST NOT：禁止

立ち入りが禁止されている部屋の場面である。must not は、その部屋に入ることを禁止している。

DO NOT HAVE TO：不要

食堂で昼食が提供されるため、弁当を持参する必要がない場面である。弁当を持参してもよいし、持参しなくてもよい。

©ミライコーチング

つまり、must not と do not have to は、どちらも否定を含む表現だが、意味は大きく異なる。

表現	意味	行動の扱い
must / have to	～しなければならない	行動する義務がある
must not	～してはいけない	行動が禁止されている
do not have to	～する必要はない	行動してもしなくてもよい

この図と表は、義務・禁止・不要の基本的な意味を比較したものであり、must と have to のすべての用法を示すものではない。

不要は、実際にしなかったという意味ではない

do not have to は、行動する義務がないことを表す。実際にその行動をしたかどうかまでは、この表現だけでは分からない。

過去形の did not have to についても同じである。「～する必要がなかった」という意味だが、実際にしなかったとは限らない。

3. must・have to の形と時制

主語と時制に合わせた形

must の後ろには、主語に関係なく動詞の原形を置く。主語が三人称単数でも、must に -s は付けない。

一方、have to は、現在形では主語が三人称単数のとき has to になる。過去の義務には、通常 had to を使う。

否定文・疑問文では、do・does・did の後ろに have to を置く。このとき、has to や had to にはしない。

主語・時制	肯定文	否定文	疑問文
must	must + 原形	must not + 原形	Must + 主語 + 原形 …?
現在：I / you / we / they	have to + 原形	do not have to + 原形	Do + 主語 + have to + 原形 …?
現在：he / she / it	has to + 原形	does not have to + 原形	Does + 主語 + have to + 原形 …?
過去：すべての主語	had to + 原形	did not have to + 原形	Did + 主語 + have to + 原形 …?

ここでの「原形」は、主語や時制によって形が変わっていない動詞の基本形を指す。

次の英文で、形の変化を確認する。

Pair 1

She has to leave early today.

彼女は今日、早く出発しなければならない。

Pair 2

Does she have to leave early?

彼女は早く出発しなければならないのですか。

Pair 3

We had to wait yesterday.

私たちは昨日、待たなければならなかった。

Pair 4

We did not have to wait yesterday.

私たちは昨日、待つ必要がなかった。

1 文目では、主語が She なので has to を使っている。2 文目では、疑問文を作るために Does を文頭に置き、後ろは have to に戻している。

3 文目の had to は過去の義務を表す。4 文目の did not have to は過去に義務がなかったことを表すが、実際に待たなかったとまでは断定できない。

must には、過去形として musted という形はない。過去の義務を表すときは、通常 had to を使う。

なお、do not・does not・did not は、それぞれ don't・doesn't・didn't と短縮できる。

文法問題で確認すること

義務を表す文では、まず主語と時制を確認し、must・have to・has to・had to の形が正しいかを判断する。

否定を含む文では、さらに「禁止」なのか「不要」なのかを確認する。特に must not と not have to を取り違えないことが大切である。

4. 例題

1

空所に入る最も適切なものを選べ。

Aki ＿＿＿ wear a uniform at school every day.

A. have to

B. has to

C. must to

D. having to

解答・解説

正解：B

主語の Aki は三人称単数である。現在の義務を have to で表す場合、三人称単数の主語には has to を使う。

また、has to の後ろには動詞の原形 wear を置く。

A. have to：主語が三人称単数なので、have ではなく has が必要である。

B. has to：正しい。三人称単数の主語に合っており、後ろにも動詞の原形が続いている。

C. must to：must の直後に to は置かない。must を使うなら must wear とする。

D. having to：having は -ing 形であり、この文では having to wear だけで述語を作ることはできない。

完成文は次のとおりである。

Pair 1

Aki has to wear a uniform at school every day.

アキは毎日、学校で制服を着なければならない。
この文では must wear も義務を表す自然な形だが、選択肢にはない。must と have to の意味の違いではなく、主語に合う形から正解を判断する。

2

橋に通行禁止の標識がある。標識の内容に合う英文を選べ。

A. You do not have to cross this bridge.

B. You have to cross this bridge.

C. You must not cross this bridge.

D. You must cross this bridge.

解答・解説

正解：C

通行禁止の標識は、橋を渡る行動を禁止している。禁止を表すのは must not である。

A. do not have to：「渡る必要はない」という不要を表す。渡ること自体は禁止していないため、標識の意味に合わない。

B. have to：「渡らなければならない」という義務を表す。通行禁止とは反対の内容である。

C. must not：「渡ってはいけない」という禁止を表す。標識の意味に合う。

D. must：「渡らなければならない」という義務を表すため、標識の意味に合わない。

A〜D の英文と意味は、次の順に対応する。

Pair 1

You do not have to cross this bridge.

あなたはこの橋を渡る必要はない。

Pair 2

You have to cross this bridge.

あなたはこの橋を渡らなければならない。

Pair 3

You must not cross this bridge.

あなたはこの橋を渡ってはいけない。

Pair 4

You must cross this bridge.

あなたはこの橋を渡らなければならない。

A は渡る義務がないことを表しており、渡ることを禁止してはいない。また、B と D はどちらも義務を表すため、この状況では誤答となる。

否定を含む表現を見たら、「しなくてもよい」のか「してはいけない」のかを区別する必要がある。

©ミライコーチング

5. 演習問題

1

空所に入る最も適切なものを選べ。

Our teacher ____ check the classroom every morning.

A. have to

B. must to

C. has to

D. musts

2

空所に入る最も適切なものを選べ。

Yesterday, we ____ clean the music room after class.

A. had to

B. have to

C. has to

D. musted

3

現在も続いている職場の決まりについて、現在形で尋ねる。空所に入る最も適切なものを選べ。

____ your brother have to wear a badge every day?

A. Do

B. Did

C. Has

D. Does

4

空所に入る最も適切なものを選べ。

Before the trip, you must ____ your bag carefully.

A. packs

B. pack

C. packing

D. to pack

©ミライコーチング

5

「食事禁止」の標識がある。標識の内容に合うように、空所に入る最も適切なものを選べ。

Visitors ____ eat here.

A. must not

B. do not have to

C. must

D. have to

6

学校のパソコンを借りても、自分のパソコンを持参してもよい場面である。次の英文の流れに合うように、空所に入る最も適切なものを選べ。

The school lends us laptops. We ____ bring our own.

A. must not

B. have to

C. must

D. do not have to

7

空所に入る最も適切なものを選べ。

The museum was free yesterday, so we ____ buy tickets.

A. do not have to

B. must not

C. did not have to

D. does not have to

8

クラブでは、支給された制服に加えて自分でもう 1 着買うことが認められている。次の英文の流れに合うように、空所に入る最も適切なものを選べ。

The club gives Aya a uniform. She may buy another, but she ____ buy one.

A. do not have to

B. does not have to

C. must not

D. does not has to

©ミライコーチング

6. 演習問題の解答・解説

1

正解：C

主語の Our teacher は三人称単数である。現在の義務を have to で表す場合、has to を使う。

A. have to：三人称単数の主語には、そのままの have to は使えない。

B. must to：must の後ろに to は付けない。must check が正しい形である。

C. has to：正しい。三人称単数の主語に合い、後ろにも動詞の原形 check が続いている。

D. musts：must は助動詞なので、三人称単数でも -s を付けない。

完成文は次のとおりである。

Pair 1

Our teacher has to check the classroom every morning.

私たちの先生は毎朝、教室を確認しなければならない。
must を使う場合は must check となる。must に三単現の -s は付かない。

2

正解：A

Yesterday があるため、過去の義務を表す形を選ぶ。

have to の過去形は had to であり、主語が何であっても同じ形を使う。

A. had to：正しい。過去の義務を表す形である。

B. have to：現在形なので、Yesterday が示す過去の義務に合わない。

C. has to：三人称単数の現在形であり、主語 we にも過去という時点にも合わない。

D. musted：must に -ed を付けて過去形を作ることはできない。

完成文は次のとおりである。

Pair 1

Yesterday, we had to clean the music room after class.

昨日、私たちは授業の後に音楽室を掃除しなければならなかった。
過去の義務は had to で表す。musted という過去形は存在しない。

3

正解：D

主語の your brother は三人称単数である。現在の義務を have to を使って尋ねるときは、Does を文頭に置く。

Does の後ろでは、has to ではなく have to を使う。

A. Do：現在形の疑問文を作る語だが、三人称単数の主語には Does を使う。

B. Did：過去形の疑問文を作る語である。英文としては成立するが、現在の決まりを尋ねるという設問の条件に合わない。

C. Has：have to の疑問文では、通常 Has your brother have to ...? という形にはしない。

D. Does：正しい。三人称単数の主語に合い、後ろも have to になっている。

B と D の完成文を順に示す。

Pair 1

Did your brother have to wear a badge every day?

あなたの兄弟は毎日、名札を付けなければならなかったのですか。

Pair 2

Does your brother have to wear a badge every day?

あなたの兄弟は毎日、名札を付けなければならないのですか。

疑問文では、現在なら Do・Does、過去なら Did を使い分ける。その後ろの have to は原形の have にする。

4

正解：B

must は助動詞であり、後ろには動詞の原形を置く。

選択肢のうち、pack だけが動詞の原形である。

A. packs：三単現の -s が付いている。must の後ろでは使えない。

B. pack：正しい。動詞の原形なので must の後ろに置ける。

C. packing：-ing 形であり、must の直後には置けない。

D. to pack：must の直後には to を置かず、動詞の原形 pack を置く。

完成文は次のとおりである。

Pair 1

Before the trip, you must pack your bag carefully.

旅行の前に、あなたはかばんに荷物を注意深く詰めなければならない。

must の後ろでは、主語や時点に関係なく動詞の原形を使う。

5

正解：A

「食事禁止」という標識は、食べる行動を禁止している。禁止を表す must not が適切である。

A. must not：「食べてはいけない」という禁止を表すため、正しい。

B. do not have to：「食べる必要はない」という不要を表す。食べる行動は禁止していないため、標識の意味に合わない。

C. must：「食べなければならない」という義務を表すため、標識の意味に合わない。

D. have to：must と同じく義務を表すため、標識の意味に合わない。

A〜D の完成文と和訳を順に示す。

Pair 1

Visitors must not eat here.

訪問者はここで食べてはいけない。

Pair 2

Visitors do not have to eat here.

訪問者はここで食べる必要はない。

Pair 3

Visitors must eat here.

訪問者はここで食べなければならない。

Pair 4

Visitors have to eat here.

訪問者はここで食べなければならない。

B は、ここで食べる必要がないことを表すだけで、食べること自体を禁止していない。禁止と不要の違いが正解を決める。

©ミライコーチング

6

正解：D

学校がノートパソコンを貸し出しているため、自分のものを持参する必要はないという流れになる。

ここでは、持参の禁止ではなく、持参する義務がないことを表す。

A. must not：「持参してはいけない」という禁止になる。設問では自分のパソコンを持参してもよいとしているため、文脈に合わない。

B. have to：「持参しなければならない」という義務を表すため、文脈に合わない。

C. must：B と同じく持参の義務を表すため、文脈に合わない。

D. do not have to：「持参する必要はない」という不要を表すため、正しい。

まず、前半の英文の意味を確認する。

Pair 1

The school lends us laptops.

学校は私たちにノートパソコンを貸し出している。

A〜D の完成文と和訳は次のとおりである。

Pair 1

We must not bring our own.

私たちは自分たちのものを持参してはいけない。

Pair 2

We have to bring our own.

私たちは自分たちのものを持参しなければならない。

Pair 3

We must bring our own.

私たちは自分たちのものを持参しなければならない。

Pair 4

We do not have to bring our own.

私たちは自分たちのものを持参する必要はない。

ここでの our own は、前の文にある laptops を指している。

do not have to は、持参しなくてもよいという意味であり、持参することを禁止してはいない。

7

正解：C

Yesterday があるため、昨日の状況について述べている。

博物館の入場が無料だったので、チケットを買う必要がなかったという意味になる。過去の不要を表すのは did not have to である。

A. do not have to：現在の不要を表す。昨日の状況を述べるこの文では、時制が合わない。

B. must not：禁止を表す。入場が無料だったことは、チケットの購入が禁止されていたことを意味しない。

C. did not have to：正しい。過去に買う必要がなかったことを表す。

D. does not have to：三人称単数の現在形であり、主語 we にも過去という時点にも合わない。

A〜C の完成文を比較する。

Pair 1

The museum was free yesterday, so we do not have to buy tickets.

博物館は昨日無料だったので、私たちはチケットを買う必要がない。

Pair 2

The museum was free yesterday, so we must not buy tickets.

博物館は昨日無料だったので、私たちはチケットを買ってはいけない。

Pair 3

The museum was free yesterday, so we did not have to buy tickets.

博物館は昨日無料だったので、私たちはチケットを買う必要がなかった。

A は現在の不要を、B は禁止を表しており、昨日の状況について述べるこの文脈に合わない。

なお、did not have to buy は「買う必要がなかった」という意味であり、この表現だけで実際に買わなかったと断定することはできない。

8

正解：B

クラブから制服が支給されるうえ、別の制服を買ってもよいと述べられている。

この状況では、自分で制服を買うことは義務ではなく、任意である。

A. do not have to：主語が She なので、do not ではなく does not を使う。

B. does not have to：正しい。三人称単数の主語に合い、「買う必要はない」という意味を表す。

C. must not：「買ってはいけない」という禁止になる。もう 1 着買ってもよいという前の内容と矛盾する。

D. does not has to：does not の後ろでは、has ではなく have を使う。

前半の英文の意味は次のとおりである。

Pair 1

The club gives Aya a uniform.

クラブはアヤに制服を 1 着支給する。
B と C の完成文を比較する。

Pair 1

She may buy another, but she does not have to buy one.

彼女はもう 1 着買ってもよいが、買う必要はない。

Pair 2

She may buy another, but she must not buy one.

彼女はもう 1 着買ってもよいが、買ってはいけない。
B は、購入が任意であることを表す。一方、C は前半で購入を許可しながら、後半で購入を禁止しているため、文脈に合わない。

また、does not の後ろに続く have to は、三人称単数の主語でも has to にはならない。